

北海道医療センター救命救急病棟に入院した患者さんへ

(臨床研究に関する情報)

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省の「臨床研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 救命救急病棟での身体抑制状況の調査
～自己抜去危険度アセスメントスコアを活用して～

[研究機関] 北海道医療センター救命救急センター救命病棟

[研究責任者] 宮崎 明子 救命救急センター 救命病棟 看護師

[研究の目的] 救命病棟へ入院となる患者様は急な症状の発症からの入院という急激な環境の変化が大きく、高齢者の割合も多いため入院に伴いせん妄となり、ルートやチューブ類の自己抜去が多くみられている。そのため、医療法人社団 山形愛心会 庄内余目病院が作成した自己抜去危険度アセスメントスコアを導入し、スタッフが共通した指標で患者をアセスメントし、それぞれに合った方法での抑制が必要だと考える。スコア表を導入することで、当病棟での抑制施行の有無や年齢、科ごと、アセスメントスコア表の行動分類別に比較を行い身体抑制状況の調査を行う。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

当病棟に平成 24 年 11 月 1 日から平成 25 年 2 月 28 日の間に入院された 20 歳以上の患者様。

●利用するカルテ情報

年齢、性別、診断名、入院期間、自己抜去危険度アセスメントスコア

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[問い合わせ先]

北海道札幌市西区山の手 5 条 7 丁目 1-1

北海道医療センター 救命救急センター救命病棟 担当看護師 宮崎 明子

電話 011-611-8111 FAX 011-611-5820